

患者様氏名

小田原市立病院 PET/CT検査 患者様控え

生年月日

検査日 年 月 日 ()
午前 ・ 午後 時 分
依頼医

【PET検査について】

- 放射性薬剤を注射し、腫瘍等への集積状態を体外から撮影します。
- 検査1回の被曝量は約6.1mSvです。
- 投与された薬から出る放射線量は約2時間ごとに半分になり、また尿として速やかに排出されます。
- この薬による重篤な副作用の報告はありません。

【注意事項】

- 検査前日は体に負担がかかる作業や運動は控えて下さい。
(薬が筋肉に集まる性質を持つ為、診断に影響を与える可能性があります)
- 検査前6時間は絶食して下さい。しかし、検査目的が心サルコイドーシスの場合には、検査前18時間は絶食してください。
なお飲水(水・お湯)は検査直前まで可です。
*ジュース、スポーツ飲料、牛乳など糖分や乳製品の入ったものは控えて下さい。診断に影響を与える可能性があります。
- 検査は完全予約制です。予約日時にお越し頂けない場合は事由発生時点で必ず連絡をお願いします。
- 常用薬は服用してかまいません。ただし、検査前4時間のインシュリン注射だけは控えて下さい。
- 妊娠中、または妊娠の可能性がある方は受診できません。
- 検査当日は紹介状・保険証を持参の上、予約時間の30分前までにお越し下さい。着替えや事前説明を行います。

【検査の流れ】

- 採血して血糖を測定します。
- 更衣を含めもう1度検査の説明を行います。
- 検査薬を注射してから1時間安静にして頂きます。
- 待機中に水を飲んで頂き、撮影開始直前に排尿して頂きます。(水はこちらで用意致します)
- 撮影は安静臥床で約20分です。
*撮影後、30分~1時間後に2回目の撮影を行うことがあります。これは、時間を置いて撮影する事により、より診断能を高める方法です。(ただし、個人差があるため必要を認めない場合もあります)
- 検査終了後は普段通りにお過ごし下さい。ただし、検査終了後もしばらくは体内より放射線が出ますので妊婦や乳幼児との緊密な接触(抱きかかえたりするような行為)は2時間程避けて下さい。

【入院患者様について】

- 検査前の点滴や静脈注射薬の成分にブドウ糖が含まれているものは診断に影響を与える可能性があります。

【診断性能】

- 炎症性疾患(胃炎や咽頭炎など)、甲状腺腫などの良性疾患に薬剤の集積が認められる場合があります。悪性度の低い癌や5mm以下の小さい腫瘍など、癌細胞の占める割合が少ない場合は、装置の解像度限界を超えるため検出されない可能性があります。また、PETにより悪性疾患の診断率は飛躍的に向上しましたが、癌を100%診断し得るものではないことをご理解下さい。
- 医学発展のため、得られた検査結果を医学会や医学雑誌に発表することがありますが、氏名などは一切公表されることはありません。検査に関して得られた個人情報(厳重)にお守りします。

ご質問等がありましたら下記までお願いします。

小田原市立病院 放射線科 PET/CT検査室
〒250-8558 小田原市久野46番地 TEL 0465-34-3175 内線3475